



記念式典の様子

創立六十周年記念事業報告

歩み振り返り、一層の飛躍を。

創立六十周年記念事業実行委員長 黒川直人

晩秋の候、同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年の創立六十周年記念事業から一年が経過いたしました。この場をお借りいたしまして事業報告をさせていただきます。

ます。

平成二十九年十月二十七日、創立六十周年の記念式典と記念講演会を開催されました。式典では、これまでの歩みを振り返り、特色ある学校として一層の飛躍を誓いました。

式典には来賓、生徒、同窓生、保護者、新旧職員ら約五百人が参列し、式辞で、柏専学院梅比良眞史理事長が六十年の歩みを振り返り、「激動の時代にさまざまな問題を正面から捉え、解決方法を見いだすことのできる人材が求められています。附属高校も産業大学も社会の要請に十分応え、その責任を果たしていかなければなりません」と述べられました。

巻口前校長は「次世代の若者の育成は、常在戦場の意識を持ち、創始者の理念の現にまい進して、特色ある学校として質を向上させることです。生徒、職員が『部活で燃えろ、進路で輝け』のスローガンのもとで一体となり、全国屈指の部活動強豪校・進学校になるため誠心努力をしていきます」と力を込めました。



着任のごあいさつ

新潟産業大学附属高等学校 校長 藤井泰昭

このたび、四月から校長として勤めております藤井泰昭でございます。県内の私立学校として輝かしい歴史と伝統を有する新潟産業大学附属高校への赴任は、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。また同時に、大変光栄なことであり、嬉しく思っております。微力ではございますが、本校の更なる発展のために、全力を尽くしていく所存であります。同窓の皆様方の温かい御支援と御協力を賜りたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

さて、同窓会の皆様には日頃より本校の教育の充実・発展のために多大なるご支援をいただきまして、誠に有り難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

本校は昨年度創立六十周年を迎えております。本校生徒の日々の勉強や部活動等に一所懸命取り組む真摯な態度は大変素晴らしいです。「部活で燃えろ」「進路で輝け！」を合言葉に、生徒、教職員が一体となって実

践し、成果を大いに出している、まさに勢いのある学校です。

本校で生徒が個性を磨き、自らの可能性を大きく伸ばし、自立して社会を生き抜く、活気あふれる有為な人材になるよう心を込めて育てていきたいと考えています。職員一同「チーム産附」として更なる高みと進化を目指します。

同窓会の益々のご発展と会員の皆様方の、より一層のご活躍を祈念いたしますとともに、母校への変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

藤井校長プロフィール

出身地：新潟県佐渡市
前 歴：元公立高校校長
勤務校歴：通算十二校目の勤務
校長職歴：校長職四校九年目

記念講演では、第二十九回卒業生で長岡市(旧栃尾市)の油揚げ製造業「毘沙門堂本舗」代表取締役の星弘様がローカルヒーロー「炎の天狐(てんこ)トチオンガー・セブン」の姿で登場しました。取り組んでいる特撮ドラマについて、「家族愛、友達愛、郷土愛のあるヒーローの力をもっと広げたい」とし、「第二の故郷「柏崎」を舞台にしたドラマを制作したい」と語りました。式典後、メトロポリタン松島にて祝賀会

が行なわれ、楽しく懇親を深めました。また、多くの来賓の皆様による「鏡割り」を行いました。他にも記念講演講師の星弘様による「トチオンガーセブンショー」で、懇親会場もさらに大きな盛り上がりを見せました。懐かしい恩師・旧友との語りいで、多くの同窓生が楽しいひと時を過ごされました。祝賀会の最後は、参加者全員による万歳三唱を行い、六十周年記念事業は盛況のうちに幕を閉じました。

部活で燃えろ！進路で輝け！

今こそ同窓会の力を結集し、

未体験ゾーンへ挑戦

後援会長・同窓会理事 石塚佳史（第18回卒業生）



同窓会の皆様におかれましては、平素より学校へのご支援を賜り、この場をお借りいたしました。厚く御礼を申し上げます。さて、二年間の短い間でありましたが、

ご尽力いただきました前任の巻口校長先生が退任され、新たに藤井校長先生が就任されました。今年も変わらず「部活で燃えろ！進路で輝け！」のスローガンのもと、スポーツに学業に生徒たちは青春を駆け抜けています。今現在

もいろいろな部活が活躍しています。が、今回特筆すべきは百回目を迎えるこの夏の甲子園をかけた新潟県予選で、産附野球部の活躍は我々にとつて歴史的な快挙を成し遂げてくれました。私も本校野球部OBですので、今夏の大会を振り返ってみましょう。

第一回戦の新潟工業戦は8-4で快勝。二回戦では第二シードの関根学園、今期甲子園を狙っていた強豪校を1-0で下し波に乗る、三回戦では三条商業に14-4（五回コールド）、四回戦は上越総合技術を延長十三回タイブレークの末2-1で勝利、エコスタ（HARD OFF ECO スタジアム新潟）へと駒を進めました。

関根学園に勝った時点でエコスタへの学校応援にいく段取りをされた藤井校長先生の判断力はさすがでした。ここまでくると甲子園の「甲」の字が見えてきたなどと言いつつも複雑な心境でした。（もしかして…）快進撃はまだまだ続きます。準々決勝相手は六番目シード校の強豪開志学園です。序盤



闘いのワンシーン

リードを許すも逆転、（4-2）三塁側を埋め尽くす産附生徒の応援が素晴らしく後押ししてくれました。（若いってカッコイイ）

やはり一、二年生中心の部員がこの夏の大会で一試合ごとに力をつけていることを実感しました。

いよいよ我々も甲子園が見えてきたか？次なる相手は甲子園に複数回出場経験のある中越高校、攻守ともに上回る実力校だ。（いくら強豪とはいえ同じ高校生だ、何が起きるかわからんぞ）固唾を飲み試合を見守る、しかし先制は産附、ヨッシャー！

中盤に逆転を許すもその差一点。九回四番の二ベースでチャンス到来。二アウト三塁までしたが…残念！（2-3）つてこれを書きながら思い出すと涙が出ます…（負けた悔しさではない）よくここまでやってくれた！「ありがとう」の気持ちです。

吉野監督はじめ、上野部長、笠原コーチ素晴らしい指導者に恵まれここまで来れました、そして何よりも親御さんの応援、援助に感謝。

私もこれからの人生に勇気をもたらしました。残念ながら甲子園の切符は持ち越しと

なりましたが、「新潟産業大学附属高等学校」の名前は県内はもちろん全国へも轟いたと思います、決して過言ではないのです。なぜなら、大勢の産附卒業生が全国で活躍していらつしやり、今回の快進撃を見守って頂き感動して頂いたことと思っっているからです。これが同窓会の力になるのではないのでしょうか？ 野球部の快進撃によって絆が深まる、高校野球は素晴らしい！感動をありがとうございます！

この結果を得て、産附のオープンスクールには百三十人を超える中学生が来てくれました。内、野球部への参加者は三十八人と聞きました。高校にとつても柏専学院にとりまして、大変喜ばしいことであります。エコスタでの試合がテレビ中継されたことによる（？）宣伝効果は抜群でした。野球やスポーツが人を感動させ、集わせる力を持っていることを改めて痛感しています。

最後になりますが、ほとんどのレギュラーメンバー残っている産附野球部は勝つて当たり前、この秋の大会からは追われる立場だ。しかしまた快進撃を続けていきます。こんどこそ、いくぞ、甲子園！



スタンドで応援する在校生

活躍した野球部の皆さん

平成29年度・卒業生の進路状況

母校では「部活で燃えろ!進路で輝け!」を合言葉とし、教職員一丸となり進路指導とりわけ進学指導にも、大学進学プログラム(特別進学講座)を開講する等、力を入れています。

平成30年3月の卒業生数は106名で、男女の内訳は男子67名、

女子39名でした。進路希望種別では、4年制大学・短期大学57名(53.7%)、専修学校・各種学校等22名(20.8%)、就職23名(21.7%)、その他3名(2.9%)で、進学希望者の合否については100%、就職希望者の内定率についても100%です。

項目	数(人)			率(%)		
	計	男子	女子	計	男子	女子
卒業生	106	67	39	100.0	63.2	36.8
通学内定者	79	49	30	74.5	46.2	28.3
大学	56	38	18	52.8	35.8	17.0
短期大学	1	0	1	0.9	0.0	0.9
専修学校	22	11	11	20.8	10.4	10.4
各種学校	0	0	0	0.0	0.0	0.0
無認可校	0	0	0	0.0	0.0	0.0
公共職業能力開発施設	0	0	0	0.0	0.0	0.0
就職内定者	23	17	6	21.7	16.0	5.7
民間企業	21	15	6	19.8	14.1	5.7
公務員(自衛官・警察官・消防官含む)	2	2	0	1.9	1.9	0
縁故就職/自家・自営業(会社組織の家業除く)	0	0	0	0.0	0.0	0.0
その他 就職斡旋未希望者など	3	0	3	2.9	0.0	2.9
未内定者 進路志望	1	1	0	0.9	0.9	0.0

あ と が き

朝晩と日中の寒暖差が激しい時期になってまいりました。同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

現在、三年生の生徒は進学や就職などの試験の真つ只中です。毎年そのよ
うな生徒たちの姿を見ると、高校生であった当時の自分の姿を思い出し、そ
の時からどれほど成長できたのか、と常に振り返るばかりです。また、失敗を
恐れず、多くのことに果敢に挑戦する姿勢を忘れないでいなければ、と身が
引き締まる思いです。

今回も同窓会報誌「友垣」を発刊するにあたり、関わっていただいた皆様に
心より御礼申し上げます。無事に編集を終えることができました。次号の発
刊もぜひお待ちしておりますと嬉しく思います。



がんばれ! 在校生。

同窓会も皆様の未来を応援しています。



同窓会ホームページが
できました!!

母校のホームページより
ご覧いただけます。

新潟産業大学附属高校

